

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 青森型優良住宅「未来tunagu家」

グループの名称 青森県優良住宅協会

直近採択グループ番号 06-0048-0023

(グループ代表者)

代表者名	日野 高一	代表者印
代表者所属先	日野建ホーム株式会社	
代表者所在地	青森県青森市柳川1丁目2-62	
代表者電話番号	017-723-6161	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社石郷岡	
事務局担当者名	中島 豪	印
事務局郵便番号	036-8061	
事務局所在地	青森県弘前市神田2-3-12	
事務局電話番号	0172-35-2100	
事務局FAX	0172-35-2135	
事務局担当者E-mail	gou_nakajima@ishigoka.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
				0	m ²				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟	0		m ²	
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	未経験工務店を優先とする。 被災地区域を優先とする。 上記の内容で採択後、着工可能な物件を最優先として配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 青森型優良住宅「未来tunagu家」	(地域型住宅供給対象地域) 青森県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 青森県優良住宅協会	(結成年) 2010年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0048-0023	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	青森型優良住宅「未来tunagu家」の特徴として「雪と地震に強い家」として構造材を105mm以上の材を使用し骨太とする。また、環境にやさしく省エネルギーな居住水準の向上、経済的な住環境設備機器の採用を推進していく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	構造材の過半を合法木材を取得した材とする。羽柄材のうち、10%以上を青森県産材認証制度により産地証明のなされた材を使用する。また、森林の活性化やCO2排出量の抑制、地域循環型社会への貢献等を目的とし、①ベレットストーブ又は薪ストーブ、②太陽光発電システムの導入。③ヒートポンプ式冷暖房システムの導入。④高効率給湯器の導入。⑤第一種換気システムのいずれか1つ採用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	青森県は雪国ということもあり、屋根からの落雪や積雪による家屋の倒壊等の被害が少なくないことから、屋根形状や隣地境界、雪対策に配慮した安全な住宅の普及に取り組んでいく。	◎
④①～③の背景	青森県は本州最北端に位置し、全域に於いて寒さが厳しい。特に日本海側の津軽地方は豪雪地方であり、今年(平成28年度)も積雪による建物の倒壊や交通マヒ等、大きな被害をもたらした。その為、建物の配置や屋根形状等は落雪や除排雪を考慮した建物になっており、特に屋根形状の特徴として、無落雪屋根が多く普及している。また、日本海と太平洋に囲まれている為、海洋型地震が多く、津波による被害も記録されている。 以上の内容を踏まえ、青森型優良住宅「未来tunagu家」の特徴ある地域型住宅の目標を設定した。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	青森県のブランドとして根強い「青森ヒバ」を住宅の内外装の仕上げ材にできる限り使用することで、伝統的なデザインを継承していく。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員内において木材や建材の共同購入を検討しており、これにより規格寸法や仕様ルールの統一化が図れる。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員内において木材や建材の共同購入を検討しており、これにより使用建材等の統一化が図れる。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 青森県優良住宅「未来tunagu家」のガイドラインを作成し、仕様ルールや標準価格の「見える化」を行い、グループ構成員が活用できるだけでなく、一般消費者にも説明理解していただくことで住宅生産体制の構築が図れる。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員内において木材や建材の共同購入を検討しており、これによりコストや納期、スムーズな材料調達が可能と考える。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 特に県産材のヒバ、スギについては時期によって入手に時間が必要となることがあり、原木事業者並びに製材加工業者と情報の共有を行うことで、グループ構成員内においてのスムーズな材料調達が可能となった。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 青森県優良住宅協会として「地域型住宅グリーン化事業」実行委員会を開設しており、今後も生産体制の合理化に向けた内容を盛り込み、年4回の実行委員会の開催を行い検討していく。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 青森県優良住宅協会としてのホームページを開設しており、一般消費者への情報提供やグループの取組実績、構造や仕様ルール、完成見学会開催等のお知らせを随時更新し、住宅の生産に寄与する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 本申請内容は、青森県が作成(当協会会長も策定委員として参加)した「雪と寒さに強い青森型省エネ住宅ガイドライン」を参考に作成した。特に、雪と寒さに強い住まいを作るための技術基準について、県が目指すものと方向性を共にすることで、消費者の信頼性を確保できるものと考えている。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 青森県優良住宅協会「地域型住宅グリーン化事業」実行委員会のメンバーを中心に施工中の現場を視察、仕様ルールに基づいた住宅可否かの住宅視察会を行っている。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の全施工事業者が活用できるように「統一見積書」を作成し、一般消費者に説明、理解していただくことで互いの信頼性の向上に努める。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅引渡し時に「青森県優良住宅 未来tunagu家」の仕様と適合していることを証明する「未来tunagu家」証明書を発行する。また、お施主様の疑問や不安を解消するために相談窓口を開設し、一般消費者への信頼を獲得する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 特になし	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木造住宅供給の担い手となる大工技能者の急激な減少や高齢化、雇用不安や諸待遇の悪化により新規大工の入職者も激減し、近い将来木造建築に携わる大工技能者の不足が懸念されることから止むを得ず、協会の柱となり、会員工務店からの若手大工技能者を募集し教育を実施する「大工育成塾」を開校。その教育内容の中に左記内容を盛り込んだ教育指導カリキュラムに基づき指導を実施している。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記内容の「大工育成塾」に派遣される工務店の社長を対象に雇用不安や諸待遇について、社会保険加入の重要性や自社大工としての教育指導を定期的実施している。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木造住宅供給の担い手となる大工技能者の急激な減少や高齢化、雇用不安や諸待遇の悪化により新規大工の入職者も激減し、近い将来木造建築に携わる大工技能者の不足が懸念されることから止むを得ず、協会の柱となり、会員工務店からの若手大工技能者を募集し教育を実施する「大工育成塾」を開校。その教育内容の中に左記内容を盛り込んだ教育指導カリキュラムに基づき指導を実施している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 青森型優良住宅「未来tunagu家」	(地域型住宅供給対象地域) 青森県全域		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 青森県優良住宅協会	(結成年) 2010年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0048-0023			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】 ◎、○記入欄				
a	① 住宅蓄積情報の整備	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN維持管理書の提出と指定図書を住宅履歴情報「いえもり・かるて」情報サービス機関に蓄積	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人JBNの推奨する積極的に利用し、団体割引等のメリットを呼びかけ、情報の入力	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN維持管理書の提出と指定図書を住宅履歴情報「いえもり・かるて」情報サービス機関に登録	○
	② メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成引渡し時にお施主様に日常の清掃とお手入れ、維持メンテナンス方法について「JBN住まいの管理手帳」を使用して説明を行う。また、併せて「引渡し説明確認書」に施主の署名捺印をもらうことを義務付ける。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成引渡し時にお施主様に日常の清掃とお手入れ、維持メンテナンス方法について「JBN住まいの管理手帳」を使用して説明を行う。また、併せて「引渡し説明確認書」に施主の署名捺印をもらうことを義務付ける。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN維持管理書の提出と指定図書を住宅履歴情報として「いえもり・かるて」情報サービス機関に登録後、一般社団法人JBNより登録された施工業者の情報が事務局へ配信され、これにより確認し、施工業者への補修点検時期等のアナウンスを行う。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 特になし	
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 特になし	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成引渡し時にお施主様に日常の清掃とお手入れ、維持メンテナンス方法について「JBN住まいの管理手帳」を使用して説明を行う。また、併せて「引渡し説明確認書」に施主の署名捺印をもらうことを義務付ける。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 青森県優良住宅協会「地域型住宅グリーン化事業」実行委員会において、お施主様からのクレーム	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 特になし		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者が倒産等で工事途中で工事の続行が不可能となった場合、また、完成引渡し後の	◎
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建設業界に精通した弁護士等を招き、グループ内の施工業者を対象に瑕疵担保責任の重要	○
	その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】 ◎、○記入欄				
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店(施工実績がない)又は少ない施工業者を対象に一般社団法人JBNの協力指	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店(施工実績がない)または少ない施工業者を対象に一般社団法人JBNの協力	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が企画、運営等にあたる。その後の受講者へのフォローを行うと共に省エネ基準に關す	◎	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿寿命型住宅、高度省エネ型住宅の施工実績のないまたは少ない施工業者を対象にまずは	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年の省エネ基準適合住宅の義務化に向けての対応として、グループ内において技術力向	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域学生の「インターシップ」の生徒(将来産業に携わる学生)受入れに積極的に取り組み、施工	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 180 今年度の参加目標人数 15	◎	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 330 今年度の参加目標人数 15	◎	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全国木造住宅生産体制推進協議会または一般社団法人JBNの協力指導を受け、グループ構	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国土交通省が推奨する長期優良住宅リフォーム事業にも対応するべく、積極的に研修会に参加	◎	
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の施工業者による木造建築を通じての技術支援、後継者や人材育成、大工	◎	
その他	一般社団法人全国木造建設事業協会、一般社団法人JBN、青森県、当協会4団体が協力し、災害時の応急仮設住宅の建設に向けた協定書の締結を行い、災害時に発生する様々な問題点を迅速に対応する体制を構築している。		◎	
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 青森型優良住宅「未来tunagu家」	(地域型住宅供給対象地域) 青森県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 青森県優良住宅協会	(結成年) 2010 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0048-0023	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	構造材(土台、柱、梁、桁)の過半を地域材(国内外の合法木材を取得した)を使用する。羽柄材のうち、10%以上を青森県産材認証制度により産地証明のなされた材で、ヒバ、スギ、カラマツを使用する。(母屋、束、大引は羽柄材として加算される)	◎
② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	海外の事業者については、念書の手入が不可能であるため登録を行っていない。海外からの製材品を調達する場合、最終出荷者からの合法性の証明によって代替する。	
b		
①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ホームページまたはグループ事務局において、各構成員の在庫量やプレカットの稼働状況を発信し、情報の共有を図る。	◎
①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ホームページまたはグループ事務局において、各構成員の在庫量やプレカットの稼働状況を発信し、情報の共有を図る。	◎
② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 青森県は冬になると寒さや豪雪の影響で工事が激減する。従って夏場の工事に集中するため、地域材の安定供給ができるよう、グループ内で常に調査し、事務局より施工業者へ需給状況をアナウンスする。	◎
c		
①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 一般消費者及び施工業者に対して畳の活用を推奨する。	○
①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 特になし	○
①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 一般消費者及び施工業者に対して襖の活用を推奨する。	○
①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 一般消費者及び施工業者に対して襖の活用を推奨する。	○
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 日本一の蓄積量を誇る青森県の「ブナの木」を有効利用する。	○
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅産業を通して地場産業を盛り上げるための伝統工芸品(津軽塗等)を施した素材の発掘を模索していく。	○
d		
① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 環境に優しく、持続可能な社会に向けて高耐久な住宅を目指し、地域の古民家や蔵の技法を取り入れることを推奨する。	○
② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 青森県は雪国ということもあり、屋根からの落雪や積雪による家屋の倒壊で近隣とのトラブルが絶えない。従って、屋根形状や隣地境界、雪対策に配慮した安全な住宅の建設に取り組んでいく。	◎
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 身近な自然環境や生態系を楽しみ、良好な関係を保つよう、人と自然の接触が多くなるような住宅づくりを目指す。	○
④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和の住まい推進関係省庁連絡会議が発刊した冊子「和の住まいのすすめ」をグループ施工業者へ配布し、一般消費者へ説明、理解していただくことで「和の住まい」の推進を図る。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	本適用申請書は、県が取り組む「雪と寒さに強い青森型省エネ住宅ガイドライン」を考慮して作成した。県が目指すものと方向性を共にすることで、一般消費者の信頼性を確保できるものとする。また、青森県森林組合との連携を図り、森林保全や清掃活動、植林活動等に積極的に参加協力を行う。	◎
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	青森県の一部の地域は東日本大震災の被災地域になっており、当構成員メンバー(施工業者)においても数多く存在する。そこで、被災地域を優先とした棟数枠と配分金額を行い、東日本大震災の復興支援に繋げる。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	一般社団法人全国木造建設事業協会、一般社団法人JBN、青森県、当協会4団体が協力し、災害時の応急仮設住宅の建設に向けた協定書の締結を昨年2月に行った。これにより、県内のみならず被災地における応急仮設住宅の建設に職人さんの派遣等のバックアップ体制を構築している。また、今年の3月に応急仮設木造住宅のモデルハウスを建設した。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

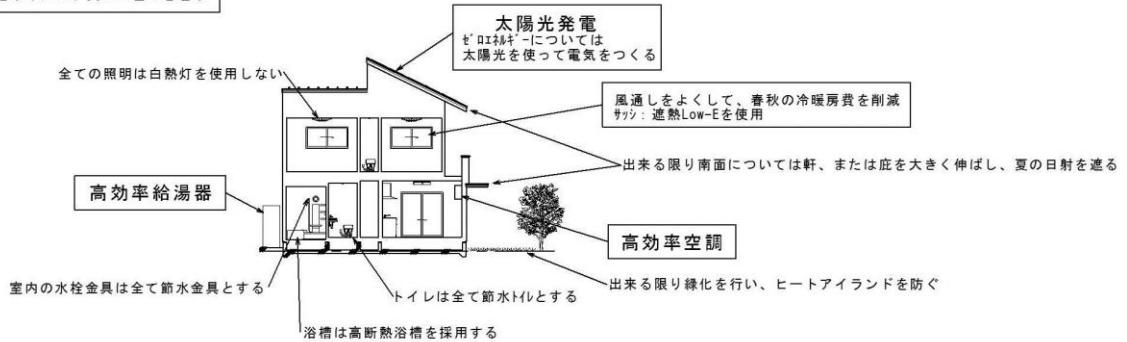
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 青森型優良住宅「未来tunagu家」	(地域型住宅供給対象地域) 青森県全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 青森県優良住宅協会	(結成年) 2010年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0048-0023	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

3地域の場合	……	<u>0.36 (w/m²K) 以下</u>		
		エネルギー削減率 (R)	<u>103.1%以上</u>	
		エネルギー削減率 (Ro)	<u>31.0%以上</u>	太陽光発電を除く数値
4地域の場合	……	<u>0.36 (w/m²K) 以下</u>		
		エネルギー削減率 (R)	<u>101.1%以上</u>	
		エネルギー削減率 (Ro)	<u>30.1%以上</u>	太陽光発電を除く数値

住宅の高断熱化
 冬は日差しを取り込み、夏は日差しを遮る



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。